

# 『寅さん』から『ちびまる子ちゃん』まで ～タイで日本文化の浸透を支える日本映画上映会～

2015.02.18

👍 2    ツイート    0  
 いいね!    G+

国際交流基金バンコク日本文化センターでは、毎週金曜日の夜に日本映画上映会を開催しています。この上映会「JF Theatre」には誰でも無料で入場でき、毎回満員になるほどの人気を博しています。

## 上映会に潜入！

会場のセミナールームには、大きなスクリーンと40程の座席が準備されています。上映時間が近づくとあっという間に満席になり、立ち見ができるほどの盛況ぶり。

この日上映されたのは『こま撮りえいが こまねこ』『こまねこのクリスマス - 迷子になったプレゼント』（監督：合田経郎）というパペット・アニメーションシリーズの2作品で、かわいい子猫の女の子こまちゃんとその家族や仲間との絆を描いた作品です。

アニメ作品ということもあって会場には親子連れの姿が多く、上映中には子供たちの笑い声が聞こえていました。他にも、年配の方や学生と思われる若い人たちも来場していて、皆思い思いに作品を楽しんでいます。

カップルで映画を観に来ていた20代の男女に話を聞いてみると、  
 「上映会に来るのは今日が2回目です。友人のFacebookで上映会のことを知って前回参加したら面白かったので、今日また来ました。映画を通して日本の日常生活を垣間見ることができるのでとても興味深いし、日本語の勉強にもなりますね。日本映画を観て最初に覚えた言葉は『HAYAKU！（早く！）』っていう言葉です（笑）。いつか日本にも行ってみたいと思っています」

と、ごく自然に日本映画に親しんでいる様子を語ってくれました。



金曜日ということでカップルで観に来ている人たちも

この上映会について、主催者である国際交流基金バンコク日本文化センターのバッシーさんに話を聞いてみました。

「この上映会は20年以上の歴史があります。バンコクではよく知られたイベントで、現地の方の生活にも浸透しています。日本で流行した作品をいち早く取り上げたり、また往年の名作を選んだり、ジャンルを問わず色々な作品を紹介しています。

昔の映画では黒沢明監督、小津安二郎監督の作品や、『男はつらいよ』の寅さんシリーズなどが人気です。最近のものでは、『書道ガールズ』、『南極料理人』の評判が良かったです。また、アニメでは『ちびまる子ちゃん』は特に人気があります。

毎月テーマを設けて上映する映画を選んでおり、今月のテーマは『アニメ』。今日上映した映画の他には、『ちびまる子ちゃん』『河童のクゥと夏休み』などのアニメ作品を上映しました。他には、『レトロ』、『家族』、『音楽』、『ロマンス』などのテーマを設定したり、特定の映画監督の作品を1ヶ月間上映したりすることもあります。中には『お化け』

なんていう、ホラー映画特集の月もあったりするんですよ。

今後もこの上映会を長く続けていき、日本映画、ひいては日本文化に親しみを持ってくれる人を増やしていきたいですね」

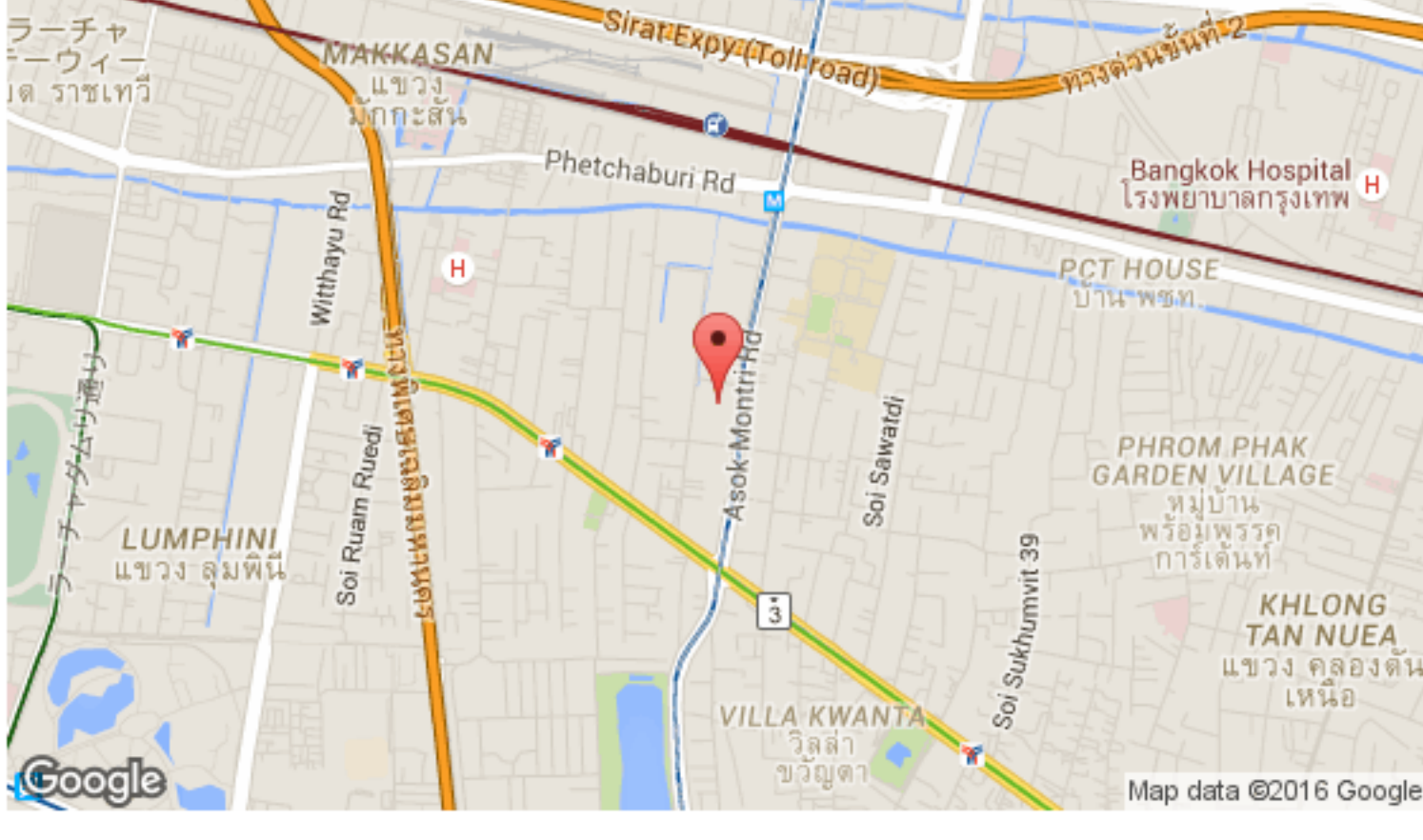


JF Theatre担当のバッシーさん

会場に来ているお客さんの姿を見たり、お話を聞いたりすると、日本映画を愛してくれている方がタイにもこんなにもいるのだと嬉しく感じます。

今年の1月には国際交流基金バンコク日本文化センター主催の『JAPANESE FILM FESTIVAL 2015』も開催されました。40年も続く大きなイベントで、タイでの日本映画の浸透に大きく貢献しています。

今後もJF Theatre上映会、そして、映画祭の活動を通じて、タイにおいて日本文化を身近に感じてくれる人たちがますます増えて行くことを期待します。



企画名	JF Theatre
日時	毎週金曜日18：30
会場	国際交流基金バンコク日本文化センター・セミナールーム
URL	<a href="http://www.jfbkk.or.th/jftheatre.php">http://www.jfbkk.or.th/jftheatre.php</a>

**中村綾花**：フランス・パリを拠点に活動するフリーライター。著書は、世界で婚活の旅をしながら恋愛・結婚事情をレポートした「世界婚活」（朝日出版）。有料コンテンツ・サイト「cakes」にてパリの本当の日常をレポートする「すっばんぱんパリ」連載中。 <https://cakes.mu/series/3055>

👍 2    ツイート    0  
 いいね!    G+